



なるせダムニュース



平成31年1月 第49号

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

去年は成瀬ダムにとって動きの多い年となりました。3月にダム本体工事のために川の水の流れを仮排水トンネルに切り替える転流式、5月にダム本体工事の契約、7月に国道342号の付替となる2号トンネルの貫通式、そして9月には本体工事着工式といったように節目となるイベントが目白押しでした。

ダム本体の工事に関しては、現在、左右岸の基礎掘削、ダム堤体の材料となる砂や礫といった材料の採取、ダム堤体の材料を製造するプラントの建設などを進めており、今年には堤体の打設を開始する予定です。

また、去年は成瀬ダムの建設現場の見学者数とその前の年の約2倍に増加しました。今年もより多くの方々に、東成瀬村に足を運んでいただき、そのスケール感を肌で感じていただけるよう、現場見学会などの広報活動を積極的に行う予定ですのでお楽しみに。

結びに、今年が皆様にとって幸多い年であることを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

国土交通省 東北地方整備局

成瀬ダム工事事務所長 村山 英俊



堤体右岸施工状況 (H30年10月撮影)



本体工事着工式 (H30年9月撮影)





新年安全祈願を行いました



成瀬ダム工事事務所では、平成30年度より本体建設工事に着手しました。建設工事が本格化しているため、1月9日に**無事故無災害、職員一同の無病息災、工事安全、交通安全**を願い、安全祈願を行いました。

村山成瀬ダム工事事務所長外13名が参列し、村山事務所長が代表として玉串奉奠をし、今年1年のさらなる安全を祈願しました。



安全祈願



村山事務所長の玉串奉奠

成瀬ダムではたらく車カード

ダムの建設現場では、さまざまな建設機械が働いています。土を掘ったり運んだりする建設機械などは、普段見かけるものよりも大型で、ダム建設にはかせません。そこで「**成瀬ダムではたらく車**」を紹介するカードを作成しました。



成瀬ダムではたらく車

名前: ダンプトラック55t積み
積める重さ: 55t/くるまの重さ: 44.6t
積める量: 34.2m³(山積)、25m³(平積)
大きさ: 長さ9.355m/高さ4.4m/はば4.595m
エンジン: ターボ付キターゼンエンジン
はいき量: 23.150cc/ねんりょうタンク: 791ℓ
出力: 552kW
<http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>



詳しいデータはこちら

とくちょう
ふだんにするダンプトラックは約10t積みです。しかし、成瀬ダムのけんせつ現場では、その5倍以上の55tの土や石を積むことができる特殊「重ダンプ」が活躍しています。重ダンプは「アーティキュレート式（関節式）」と、このリジッドフレーム式（自動車と同じような構造で前輪で舵を切る）があり、それぞれ場所によって使い分けをしています。55tの重さは、男前水族館のホッキョクグマ（雄太）157頭分、34.2m³は、灯油を入れるボリタンク（18ℓ）を1900個積みむことができる量です。

まずは3種類。
デザインは成瀬ダムの「チームCSG」が担当しています。

裏面には建設機械の特徴を掲載

【**はたらく車カード**】は、成瀬ダムが主催する現場見学会等で参加者に配付する予定としております。



工事現場だより



●「成瀬ダム堤体打設工事（第1期）」の現場を紹介します。

本工事は、ダムの主体となる材料を採取し、また、ダムの重さを支える土台となる基礎岩盤を露出させるため、河床や左右岸の地山を掘削し、台形CSGダムを構築する工事です。現在は、材料採取および基礎掘削工事を鋭意進めているところです。

本工事では、最先端技術を導入して施工を進めてまいります。CSGの打設においては、次世代の無人化施工技術を導入します。この技術は、従来のリモコン等による建設機械の遠隔操作とは異なり、人間は予め複数の建設機械に対しタブレット端末で指示を出すだけで、あとは機械が自動的・自律的に運転・施工を行うものです。建設業の課題である将来の熟練技能者の減少や作業員不足への対応、土木工事全般の生産性並びに安全性の向上に大きく貢献し、建設業を夢や魅力ある産業に変革できるものと考えています。



無人化施工技術イメージ



自動ダンプトラックと自動ブルドーザーの連動作業状況
(他ダムの事例)



自動スライド型枠施工状況 (他ダムの事例)

下流からのぞむ



現在の状況 (2018年12月上旬)

現場代理人から、ひと言。

「成瀬ダム堤体打設工事（第1期）」
施工会社： 鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体



現場代理人
奈須野 恭伸



台形CSGダムとして国内最大の成瀬ダムの堤体打設工事を当JVで施工できますこと大変光栄に感じております。

長期間の工事となりますが、現場の安全のみならず、国道342号を通行する工事関係車両が増加することから、交通事故防止につきましても最善の対策を図ります。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、地元の皆様からの意見を頂戴しながら安全に施工を進めてまいりますのでよろしくお願い致します。

発行 国土交通省 成瀬ダム工事事務所 調査設計課

〒019-0801 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字宮田97-1

TEL 0182-23-8450(代表) FAX 0182-23-8449

URL <http://www.thr.mlit.go.jp/narusedam/>

成瀬ダム

検索

